

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語聴覚障害概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時限	通年 水曜4限 他	教室名	406教室 他
担 当 教 員	門脇康浩 他	実務経験とその関連資格	介護老人保健施設、病院で言語聴覚士として言語聴覚障害、摂食嚥下障害のリハビリテーションを実施していた。			
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚療法について概要を学ぶとともに、失語症友の会との交流活動を通して、言語聴覚士が関わる障害領域について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(50点)および失語症友の会の取り組みと振り返りレポート(50点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜、資料を配布する。						
《授業外における学習方法》						
講義の内容をノートにまとめ、理解する。						
《履修に当たっての留意点》						
失語症友の会について、前期は保健所での交流、後期は本校にて学生の企画によるもの。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法の全体像を理解できる	配布プリント	事前に教科書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	総論			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	音声障害と運動障害性構音障害の定義、概念を理解し、説明できる。	配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	音声障害 運動障害性構音障害			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の定義を説明できる。記憶障害の障害像と心理を理解できる。	配布プリント DVD	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	高次脳機能障害			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	機能的構音障害・器質性構音障害について理解でき、説明できる。	配布プリント DVD	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	機能的構音障害・器質性構音障害			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の概要、吃音に対する言語聴覚療法について理解でき、説明できる。	配布プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	吃音			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の概念、その病態について理解でき、説明できる。	配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	嚥下障害①		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の原因について説明できる。	配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	嚥下障害②		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	失語症の概要、症状を理解し説明できる。	配布資料 DVD	講義の内容をノートにまとめる。次回、確認する。
		各コマにおける授業予定	失語症 ～概要、症状～		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	失語症のある方への対応方法・留意点を理解し説明できる。	配布資料 DVD	講義の内容をノートにまとめる。失語症友の会交流会で実践できるよう復習する。
		各コマにおける授業予定	失語症 ～コミュニケーション方法を知る～		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	聴覚障がい概要、聴覚障がいに対する言語聴覚療法について理解でき、説明できる。	配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	聴覚障害		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障がい概要、知的障がいに対する言語聴覚療法について理解でき、説明できる。	配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	言語発達障害①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASD、ADHDの概要、ASD、ADHDに対する言語聴覚療法について理解でき、説明できる。	配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	言語発達障害②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺、重症心身障がい概要、脳性麻痺、重症心身障がいに対する言語聴覚療法について理解でき、説明できる。	配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	言語発達障害③		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究を行う上で必要な統計用語を列举し、説明することができる。	配布資料	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	言語聴覚障害研究法		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	年齢や障がいに応じた関わり、配慮を考え実践できる。交流企画担当としての適切な関わり、配慮を見て学ぶ。	配布資料	企画担当教員より指示のあった事前学習・事前準備を行う。
		各コマにおける授業予定	失語症友の会 交流会(1)		